

様

——グリム童話より——

おんがくたい

フレイメンの音楽隊

原作
グリム兄弟
作
藤原玄洋

● 出演者

ヒン作
ワン太
ミー子
コケ吉
おじいさん
親分(泥棒)
子分(泥棒)
ナレーション

● スタッフ

作
藤原玄洋
演出
演出助手
音楽
人形美術
舞台美術
音響効果
照明

歌詞

「四匹の行進」
川尻泰司
「おれたちや泥棒」
かげえグループ・モコモコ

舞台監督
制作

eMai:genyo2@nifty.com
© FUJIWARA Genyo 2006

1 コマ おじいさんの家

初冬の夜。ドイツの片田舎。

下手に、裕福な家が見える。

「ブレーメンの音楽隊」のタイトル出る。

ややあって、タイトル消える。

不安な音楽。

荷車を引いた泥棒の親分と、後ろを押す子分が、上手から登場。

子分 (ふるえ声で) 親ぶぶん。

親分 おい、静かにしろっ。

子分 だって、親分。暗くて、怖いですよっ。

親分 バカヤロー！ 泥棒様が、夜を怖がってどうする。

子分 大きな声を出すと、まわりに聞こえますぜえ。

親分 まったくー。

子分 親分、そこに大きな家が見えますぜ。

親分 明かりが消えて、真っ暗だから、みんな寝ているに違いない。じ

や、仕事にかかろぞ。

子分 ガッテン、しょうち。

泥棒たち、家の中に入っていく。

まもなく、家財を抱えて出てくる。

子分 親分、こりや大金持ちですぜえ。

親分 そうとも、ごっそり、全部いただいちまおう。

音楽。

泥棒たち、家財を荷車にのせる。

せわしく、何度も家の中に入って、家財を運び出し、車にのせる。

親分 よし、こんなところでいいだろう。お宝は、一つ残らずいただいた。
た。

子分 親分、久しぶりに大収穫ですね。

泥棒たち、車を引いて、上手に退場。
照明、朝になる。

コケ吉(声) コケコッコー、コケコッコー。

おじいさん たっ、た、大変だー。

----- おじいさん家から飛び出してくる。

おじいさん 大変だー、ウチのー、全部、お金もみんな泥棒にやられてしまった。どーしようお。

----- ニワトリのコケ吉、屋根の上で鳴く。

コケ吉 コケコッコー、おじいさん、どうしたんですか？

おじいさん あー、コケ吉かあ。大変なんだ、泥棒にすっかり、お金も何もかも、持って行かれてしまったんだ。

コケ吉 それは、大変。

おじいさん コケ吉、すまないが、ロバのヒン作を呼んでくれないか。

コケ吉 コケコッコー、ヒン作ー。ヒン作ー。

----- ロバのヒン作、家の陰から登場。

ヒン作 ヒヒヒン、おじいさん。もう、街に荷物を運ぶんですかあ？

おじいさん あー、ヒン作。それどころじゃないんだ。ウチのお金も、みんな泥棒に盗まれてしまったんだ。

ヒン作 それは、大変。

おじいさん それで、すまないが……ヒン作にコケ吉、お前たちには長い間働いてもらったんだが、どうか、これからは、お前たちの力で生きていっておくれ。

コケ吉 おじいさん、どうしてなんですか？ おじいさんところでは、もう、暮らせないんですか？

おじいさん お金がなくなってしまうては、お前たちを養っていくことができないんだ。すまないねえ。

----- おじいさん、力なく家に入っていく。

コケ吉 ヒン作、どうしよう。ボクたちだけで、生きていけなんて……。

ヒン作 うーん、困ったねえ。ワシも年とって、老いばれロバになってしまった。誰も、もう雇ってはくれまいねえ。

コケ吉 ボクも、毎朝、毎あき、一日も休まず、みんなを起こしてきたけど、誰か雇ってくれるかなあ。

----- 上手より、イヌのワン太登場。

ワン太 ワン、ワン、ワン。

ヒン作 おう、ワン太。

ワン太 朝から、どうしたんだい？ みんな、深刻そうな顔をして。

コケ吉 うん、泥棒が入って、おじいさんの家のもの、みんな持って行ってしまったんだ。

ワン太 それは、大変。ボクがいれば、泥棒なんて追い払ってやったのに。ワン、ワン。

ヒン作 そうだねえ。ワン太がいればねえ。

ワン太 それで、みんな、どうするんだい？

コケ吉 それで、困っているんだ。なんか、いい知恵はないかい？

----- 上手より、ネコのミー子、歌いながら登場。

♪ 「私のオーディション」

オーホホホホ オーホホホホ

明日は わたしの オーディション

ほらほら わたしの キュートな声

オーホホホホ オーホホホホ

ミー子 あーら、皆さん、どうなすったの？ くらーい顔して？

コケ吉 おや、ネコのミー子さん、ご機嫌ですね。

ミー子 オッ、ホホホホ……。そうよお。私、ブレーメンの音楽隊に入るの。それで、これからオーディションに出かけるところなの。

ワン太 オーディションで？

ミー子 バカねえ。オーディションを知らないの？ 音楽隊に入る試験なの。

ヒン作 その試験って、誰でも受けられるのかい？

ミー子 そうよお。誰でも受けられるわ。でも、試験に合格しないと、音

楽隊には入れないわよ。

ヒン作

なるほど……。どうだい、コケ吉、ワシたちも、そのオーデイションというのを受けてみないか？　ワシは、得意の太鼓で、コケ吉は、自慢の笛でどうだい？

コケ吉

いいですよ。ここには、もういられませんからね。

ヒン作

そうと決まったら、出かけよう。

ワン太

ワン、ワン。ボクも、ギターで音楽隊に入りたいから、いっしょにつれてってください。

ミー子

あなたたち、オーデイションをなめちゃいけませんわよ。私ならともかく。あなたたち、ちゃんと楽器がひけるの？

ワン太

じゃあ、ここで練習してから出かけよう。

ヒン作

じゃ、楽器をとりに行ってこよう。

三匹、上下にわかれて、楽器を取りに行く。

ミー子

あの人たち、大丈夫かしら。私は、大丈夫だけどね。

まもなく、三匹、楽器をもって、もどってくる。

四匹、歌の練習を始める。

♪

「四匹の行進」

川尻泰司作「ひひんわんにゃんこけっこ」より

ヒヒヒン

ワン

ニヤン

コケコッコ

ヒヒヒン

ワン

ニヤン

コケコッコ

みんなで

歌いましょう

声をそろえて

ヒヒヒン

ワン

ニヤン

コケコッコ

ヒヒヒン

ワン

ニヤン

コケコッコ

ヒン作

いい調子だ、出かけよう。

ミー子

まあまあ、ですわね。

コケ吉

じゃ、元気に歌っていこう。

ワン太

よしきたー。

♪

「四匹の行進」

川尻泰司作「ひひんわんにゃんこけっこ」より

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

みんなで 歌いましょう 声をそろえて

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

みんなで 踊りましょう 足並みそろえて

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

四匹、元気に歌いながら、上手に退場。

2コマ 峠への道

森の中。

四匹、下手から歌に合わせて登場。

背景の森、スクロール。

四匹、元気に行進。上手に退場。

3コマ 夕焼けの峠

夕焼けの峠。頂上に、一本杉が立っている。
四匹、下手から歌に合わせて登場。

ワン太 ずいぶん歩いてきたね。

コケ吉 おじいさんの家が、あんなに遠くに見える。

短調で「四匹の行進」。

ヒン作 おじいさんの家には、もう帰れないんだねえ。
ミー子 私、おながが、へってきたわー。

ワン太 ボクもー。

コケ吉 (二本杉の上に飛び乗り)コケコッコー。向こうの森の中に、明かりが見える。

ヒン作 今夜は、そこに泊めてもらおうよう。

ワン太 じゃあ、元気に歌っていこう。

♪ 「四匹の行進」

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

みんなで 歌いましょう 声をそろえて

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

みんなで 踊りましょう 足並みそろえて

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

四匹、上手に退場。

4コマ 森の中

薄暗い、森の中。

四匹、下手から歌に合わせて登場。

背景の木立、スクロール。四匹は、足踏み。

音楽終わる。

ミー子 あら、明かりが見えてきたわー。

ワン太 ボクが、様子を見てくる。

ヒン作 気をつけてな。

ワン太 ワンワン。(上手に退場)

コケ吉 ボクたち泊めてもらえないかなあ。
ミー子 行ってみなきゃ、わからないでしょう？。
ヒン作 じゃ行ってみよう。

音楽。カラオケ。

三匹、音楽に合わせて登場。
背景の木立、スクロール。三匹は、しばらく足踏み。
音楽終わる。

ワン太、上手より戻ってくる。

ワン太 ワンワン、家があったよ。
コケ吉 ごちそうは、あったかい？
ワン太 楽しそうに歌ってたよ。
ヒン作 よし、行ってみよう。

四匹、上手に退場。

泥棒たちの歌声、聞こえる。

5コマ 泥棒の家

舞台中央に、山盛りのごちそうのテーブル。下手には、入り口。
泥棒たち、歌いながら、ごちそうを食べている。

♪ 「おれたちや泥棒」の歌

アツハハハハ アツハハハハ
酒盛りだい アツハハハハ
おれたちや まじめな泥棒様だ (ヘーイ)
ちつとは知られた 腕ききさー (オ
ー)

親分 食え、くえ。どんだん、食えー。

アツハハハハ アツハハハハ
酒盛りだい アツハハハハ
今夜の えものは大したものだ (ヘーイ)

----- 四匹、下手から登場。

ヒン作 シー。

ワン太 様子を見てみよう。

ミー子 大丈夫かしらあ。

コケ吉 何か食べるものは、分けてもらえるのかなあ。

ヒン作 よし、みんな。ワシの背中に乗って、様子を見てくれ。

ワン太 じゃ、ボク、乗ります。(ヒン作の上に乗る)

ヒン作 次はミー子だ。

ミー子 (ワン太の上に乗る) オーケーですわよ。

ヒン作 コケ吉、最後に乗って、様子を見ろ。(コケ吉、上に乗る)

ワン太 何か、見えるか？

コケ吉 ちよつと、待ってください。(のぞく) ワー。

----- 四匹、くずれおちる。

ヒン作 シー。

コケ吉 大変！ 怖そうな男たちが酒盛りをしますよ。

ワン太 もつと、よく見ろ。

ヒン作 よし、ワン太、次、ミー子、最後に、コケ吉だ。

----- 次々に、乗って、コケ吉、中の様子を見る。

コケ吉 すごい、ごちそう。

ミー子 でも、あたしたちに分けてなんかくれませんよね。

ワン太 静かに！ コケ吉、もつと、よく見ろ。

親分 ワッハハハハ、食え、くえ。どんどん、食えー。

子分 親分、きのうの夜は、うまくいきましたね。

親分 ワッハハハハ、まったくだ。ヒック、ウイー。

子分 あのじいさん、あんなにお宝を持つてるなんて……。

親分 ワッハハハハ。古い先短い、じいさんには、あんなお宝、あつて

も、ムダというもんだ。ヒック、ウイー。

子分 そうですわね。

親分 これで当分、遊んで暮らせるぜ。食え、くえ。どんどん、食えー。

----- コケ吉、降りてくる。

コケ吉 大変。ここにいるのは、きのうの泥棒たちですよ。

ミー子 泥棒たちなら、私たちに、ごちそうなんか分けてくれませんかよね。

ワン太 バカ、静かにしろ。

コケ吉 おじいさんの家のお宝を盗んだっていつてますよ。

ワン太 何とかしなきゃ。

ヒン作 ワシたちで、盗まれたものを、とりもどそう。

ワン太 どうするんです。

ミー子 あたしに、いい考えがあるわよ。

----- 四匹、ひそひそ相談し、かくれる。

親分 ワツハハハハ、食え、くえ。どんどん、食えー。

子分 親ぶくん。

親分 なんだ、気持ちの悪い声を出すな。

子分 いっぱい、お宝が手に入ったんですから、こんなうす気味悪い森の中から、引越しましょうよお。

親分 ワツハハハハ。泥棒が、怖がってどうする。

子分 だーってえ。

----- まわり、暗くなる。

画面に、ミー子の影。

ミー子 ミヤ〜〜オ。こんばんわ〜。

子分 わー、出たー。

親分 ワツハハハハ。気の弱いヤツだ。何が出たってんだあー？

----- 画面に、ワン太の影。

ワン太 ウ〜、ワン〜ン。こら泥棒たち〜。

親分 何だあ？ 何者だー。

----- 画面に、ヒン作の影。

ヒン作 ブツヒ、ヒュン。ワシらは、この森の精だ〜。

子分 わー、出たー。

----- 画面に、コケ吉の影。

コケ吉 ケケケ、コケッコ〜。お前たち泥棒は、この森から出て行けえ

〜。出て行かないなら、お前たちにとりついてやる〜。

子分 親分、出て行きましようよ。

親分 バカヤロー、何いってんだ。しっかりしろ。

----- 四匹、入り口に、ヒン作、ワン太、ミー子、コケ吉の順の乗って、効果音とともに。

四匹 ヒヒン、ワン、ニヤン、コケッコ〜。ヒヒン、ワン、ニヤン、

コケッコ〜。(画面には、四匹の影が揺れる)

泥棒たち ワー、た、助けてくれー。

----- 泥棒たち、上手に逃げていく。

四匹、入り口から入っていく。

コケ吉 わーい、やった、やった。大成功。

ワン太 うまくいったぞうー。

ミー子 私の、作戦の勝利ね。

ヒン作 よかった、よかった。これで、おじいさんの家で暮らせる。

ワン太 さあ、盗まれたものをおじいさんの家に届けよう。

ミー子 そうね、私もお手伝いしますわ。オーディションは、次の機会と
いうことで……。

コケ吉 ミー子さんなら、いつでも大丈夫ですよ。

ミー子 当然だわ。私、おなかすいちゃった。

三匹 ハハハハ……。

ヒン作 腹がへっては戦はできぬ。みんなで、ごちそうをいただこう。

コケ吉 ケツコウ、ケツコウ、コケツコー。

四匹、ごちそうを食べる。
「四匹の行進」の音楽。
暗転。

6 コマ エンディング

背景は森。
四匹は、荷車を引きながら行進。

♪ 「四匹の行進」 川尻泰司作「ひひんわんにゃんこけっこ」より
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
みんなで 歌いましょう 声をそろえて
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
みんなで 踊りましょう 足並みそろえて
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

間奏。

ナレーション こうして、力を合わせて、泥棒を退治した四匹は、おじいさんのもとに、盗まれたものを全部届けました。そして、おじいさんをお願いして、ネコのミー子も、イヌのワン太も、おじいさんの家で暮らすことになりました。

♪ 「四匹の行進」 川尻泰司作「ひひんわんにゃんこけっこ」より
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー
みんなで 暮らしましょう みんなで仲良へ
ヒヒヒン ワン ニヤン コケコッコー

ヒヒヒン
ワンニヤン
コケコッコ
ー

画面。フェードアウト。

「おわり」のタイトル出る。

音楽高まり、暗転。